

三八上北国有林の森林計画に関する住民懇談会の概要について

平成32年4月を始期とする三八上北森林計画区の地域管理経営計画等の策定にあたり、住民参加の森林づくりを進める一環として、国有林の森林計画等に関する説明を行うとともに、地域の皆さんからご意見・ご要望をお伺いする機会となる「住民懇談会」を開催しましたので、その概要を公表します。

今後は、いただいたご意見等を参考に、地域管理経営計画等の策定作業を進めていくこととします。

○三八上北国有林の森林計画に関する住民懇談会の概要（主催：三八上北森林管理署）

(1) 開催日時

平成30年11月21日（水曜日）13時30分～16時00分

(2) 開催場所

青森県十和田市 富士屋グランドホール



(3) 出席者

森林計画検討会委員2名、国有林モニター2名、一般参加者15名、青森県3名、市・町・村7名、青森水源林事務所1名、東北森林管理局・三八上北森林管理署30名 計60名

(4) 主な意見等の概要

- ・ オジロワシなど希少野生動植物に対する保護対策を引き続きお願いしたい。
- ・ つながる林道など地域の防災を考えれば、利用頻度の低い林道も整備をしてほしい。
- ・ 森林施業において林道は重要な施設であり、メリハリのある整備をしてほしい。
- ・ この地域における在来樹種「カツラ、ヤチダモ」などの植栽も生態系の保全を含め有効ではないか。
- ・ 今年発生した松くい虫被害について、国有林は樹種転換などの対策を考えているのか。
- ・ ニホンジカが増えてきている。個体数調整など早めの対策が必要ではないか。
- ・ 豪雨など異常気象時における溪流状況の把握が必要ではないか。「地域を守るのは森林」である。
- ・ 森林環境教育では、病虫獣害を含めた教育も必要ではないか。

